

福祉
社
福
社
日
本
本
日
本
日
本
日
本

サービス付き 高齢者住宅事業に参入

「茶話本舗」のブランド
名で小規模タイプのフランチ
ヤイスを展開する日本介護
福祉グループ(東京都墨田
区、小柳社社長)は7月
22日、サービス付き高齢者
向け住宅事業に参入するこ
とを発表した。

「結笑(ゆえ)」のブラ
ンド名で、年内に用地取得
と着工準備に取りかかり、
2012年春から、順次開
設していく。開設場所は関
東近郊で、12年度内に5棟
の開設を予定している。
同社では小規模タイプ「茶

話本舗」を運営する中で、
特に低所得者向けの高齢者
住宅・施設の不足を痛感。
国がサービス付き高齢者向
け住宅の本格整備に乗り出
したこともあり、今回、事
業参入に踏み切った。
建物は木造で1棟あたり

20〜30室の小規模なものを
想定、利用料は10万円程度
(家賃・管理費・食費・サ
ービス費込み)と低価格に
設定する。水道光熱費、介
護保険サービス割負担を
含め15万円以内の料金設定
を想定している。また、体
験入居も3カ月まで可能と
する。

入居者層は、要介護認定
を受けている高齢者を主な
客層とし、特に医療連携体
制の充実などで、ターミナ
ルを迎えたいとの意向が強
い高齢者を入居者として想
定している。
サービス内容は、住宅賃
貸、生活支援サービス、訪
問介護、居宅介護支援を基
本サービスに、物件によっ
ては、「茶話本舗」をモデ
ルとする通所介護や訪問看
護、さらにクリニックや保
育所などを併設する。
サービスモデルとして

「結笑の葉」「結笑の実」
「結笑の樹」の3つを用意。
「結笑の葉」は住宅賃貸、
訪問介護、居宅介護支援の
3サービスを提供。「結笑
の実」はさらにアイサービ
スを併設、「結笑の樹」は
アイサービスの他、訪問看
護、クリニックを併設する
モデルとなっている。
同社では初年度3億円の
売上目標を想定している。